

一関出張所の工事紹介 第4弾!!

今回の「あいらぽーと」は、前号で紹介した一関遊水地小堤の初期越流堤をつくっている工事を代表して、株式会社いらいさんで鋭意施工中の『一関遊水地第1小堤舞川地区下流築堤護岸工事』を紹介します!!



一関遊水地第1小堤舞川地区下流築堤護岸工事

工事概要

- 工事名 : 一関遊水地第1小堤舞川地区下流築堤護岸工事
- 工事場所 : 岩手県一関市舞川字三番谷起地内
- 工期 : 平成24年9月28日～平成25年3月14日
- 請負会社 : 株式会社 いらい
- 工事内容 : 盛土工 V=3,700m³
 多自然型護岸工(かごマット) A=12,125m²
 コンクリートブロック工 A=3,725m²
 植生工 A=3,800m²

この工事は一関市舞川地内の北上川に架かる柵の瀬橋上流右岸で新幹線橋梁から下流までが工事場所になります。工事内容は土を盛る高さが1.5m～1.6mで延長が約250mの初期越流堤の盛土・護岸工事になります。

11月末現在で、北上川側はブロックを置くための床を作っている最中で、遊水地内(新幹線)側はかごマットを置くための準備中です。



初期越流堤の構造

〈現在〉

〈完成イメージ〉

A - A' 断面

遊水地内側は『かごマット』構造

北上川側は『ブロック』構造

〈現在〉

〈完成イメージ〉

現場から

現場に天気予報!?

工事現場出入口の工事看板には、当日の天気と翌日の天気予報を表示しています。通勤・通学する際には、是非、参考にして下さい!!



実際の工事看板写真

エコ(eco)の実施!!

最近よく耳にするようになったエコという言葉。当現場でも何かできることはないかと考え実施しているのが、ハイブリットのエンジンを搭載したパワーショベル(バックホウ)の使用です。従来のバックホウでは、燃料を1日あたり80L使用していましたが、ハイブリットバックホウは、1日あたり50Lで作業ができ、1日で家庭で使う灯油のポリ缶(18L)で約2缶分の違いが出ます。排気ガスの量も減りますので、CO2の削減にも繋がります!!



ハイブリット車両はこのように表記してあります。

実際の使用状況